

平成 30(2018) 年度 大阪大学大学院高等司法研究科（法科大学院） 一般選抜【第 2 次募集】 学生募集要項

●募集人員

研究科名	専攻名	コース名	募集人員	選抜区分
高等司法研究科	法務専攻	法学未修者コース(3 年制)	若干名	一般選抜
		法学既修者コース(2 年制)	若干名	

●大阪大学大学院高等司法研究科の課程、修業年限等

本研究科の課程は、専門職学位課程（法科大学院の課程）とし、標準修業年限を 3 年とします。修了者には、「法務博士（専門職）」の学位を授与します。

なお、法学既修者コースは、修業年限を 2 年とします。

●教育目標

大阪大学の教育目標を受けた、専門職大学院としての本研究科の教育の理念及び目標は、「新時代を担う真の Legal Professionals の育成」です。多様なバックグラウンドを有する学生を多数受け入れ、高度の法的知識・能力、幅広い教養、豊かな人間性、厳格な職業倫理を兼ね備え、かつ、ひとりひとりの国民がそれぞれに社会的責任を持った主体として自由で公正な社会の構築に参画することが求められる社会に貢献する法曹を養成することを目指しています。そのため、以下の重層的な目的を掲げています。

- (1) 法科大学院は、法曹養成教育プロセスの第一段階ですので、①将来の法曹としての実務に必要な基本的な法知識及び技能を確実に修得させること、②その基本・基盤にたつて、理論的かつ実践的な応用能力を身につけさせることを目指します。
- (2) 人間や社会のあり方に関する幅広い問題関心を持ち、複眼的思考と深い洞察力をもって既存の法律知識を批判的に検討しながら、発展させていく創造的な思考力、同時に豊かな人間性と高い倫理性を有する総合的・全人格的な能力の涵養を目指します。
- (3) 商都大阪という立地から、国際関係を含めたビジネス法に重点を置いた教育を実施し、地域社会に貢献・寄与できる法曹を養成することを目指します。

●法科大学院が求める学生像（アドミッション・ポリシー）

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、高等司法研究科では、次の学生を求めます。

- 1 法学以外の専門的知識を十分に修得し、または、社会において多様な知識を獲得し、経験を積んでおり、自らが設定する課題を探究しようとする強い意欲と、厳格な成績評価・修了認定に耐えるだけの努力能力を備え、かつ、柔軟な発想のもとに「考える」という論理的プロセスを受け入れることができ、国際化による変化に対応しうる能力を有する学生
- 2 法学の基礎的な学識を既に修得しており、自らが設定する課題を探究しようとする強い意欲と、厳格な成績評価・修了認定に耐えるだけの努力能力を備え、かつ、柔軟な発想のもとに「考える」という論理的プロセスを受け入れることができ、国際化による変化に対応しうる能力を有する学生

以上の能力の有無を判定するために、以下の選抜試験を行います。

1 法学未修者コース

一般選抜試験（法学未修者）と社会人や他学部・他学科卒業生を対象とする特別選抜試験（社会人等）を実施します。一次選抜として、学部の成績・志望理由書・適性試験の点数等による書類選考を行い、その合格者に対して、小論文試験や口述試験を課します。小論文試験も口述試験も法律知識を問うものではありません。

2 法学既修者コース

一般選抜試験（法学既修者）および特別選抜試験（法学部 3 年次生）を実施します。一次選抜として、学部の成績・志望理由書・適性試験の点数等による書類選考を行い、その合格者に対して、法律科目の論述式試験を課します。

なお、第 2 次募集では第一次選抜は実施いたしません。

目次

1. 一般選抜について	3
1-1. 出願資格	3
1-2. 出願資格事前審査	4
1-3. 障がい等による配慮を希望する方について	4
1-4. 出願期間および提出書類	4
1-5. 法学既修者コースについて（および法学未修者コースとの併願について）	6
1-6. 入学者選抜試験実施要領	6
1-7. 合格者発表	7
2. 入学手続等	7
3. 入試情報（個人成績等）の開示	8
4. 注意事項	8

1. 一般選抜について

1-1. 出願資格

出願時において次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、「2017年法科大学院全国統一適性試験」を受験し、その得点が本研究科の定める最低基準点（143点）に達した者

- (1) 大学を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府または関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準じるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 入学時に大学に3年以上在学し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認めた者（**いわゆる3年次飛び級**）※

※次に掲げる①、②及び③の要件すべてを満たすことを条件とする。

①在籍期間

以下のいずれかに該当する者

1. 日本の大学に、平成30年3月末時点で3年（休学期間がある場合は、休学期間を除いて3年以上であって4年に満たない期間）在籍することとなる者。
2. 日本の大学に、3年次編入した者であって、平成30年3月末時点で、出願時に在学している大学において1年（休学期間がある場合は、休学期間を除いて1年以上であって2年に満たない期間）在籍することとなる者。

②修得単位

以下のすべてに該当する者

- (イ) 大学入学後、3年次の前期（9月30日までに終了する学期をいう）までに卒業に必要な単位のうち90単位以上を修得していること。
- (ロ) 法学既修者コースに出願する場合は、(イ)に掲げた修得単位のうち、少なくとも20単位を法律基本科目（憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法に関する分野の科目をいう。ただし、入門科目を除く。）によって修得していること。
ただし、本研究科入学希望者が、出願時に在学している大学の3年次に編入学した学生である場合には、「②修得単位」の要件は次のとおりとする。
(イ) 編入前の大学において修得した単位（編入前の大学において卒業に必要な単位に限る）と、出願時に在学している大学において新たに修得した単位（卒業に必要な単位に限る）の合計が90単位以上であること。
(ロ) 法学既修者コースに出願する場合は、(イ)に掲げた修得単位のうち、少なくとも20単位を法律基本科目（憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法に関する分野の科目をいう。ただし、入門科目を除く。）によって修得していること。

③成績

- ②(イ)に掲げた修得単位の60%以上が、在学する大学の学業成績における最優秀またはそれに準ずる評語（100点満点中80点以上に相当）であること。

- (11) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者、又は我が国において外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められたもの
- (12) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 30 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの
- 注) 短期大学・高等専門学校卒業生、専修学校・各種学校の卒業生、外国大学日本校・外国人学校の卒業生など大学卒業資格を有していない者を対象としています。

1-2. 出願資格事前審査

「1-1. 出願資格」(9)、(11)、(12)の適用を受けようとする方は、あらかじめ出願資格事前審査を受けなければなりません。出願に先立ち、平成 30 年 1 月 12 日(金)【必着】までに、下記の【事前審査提出書類】を取り揃え、返信用封筒(長形 3 号(縦 23.5×横 12cm)(簡易書留)・返信先の住所及び氏名を明記し、切手 392 円分を貼付のこと)を同封のうえ、書留郵便で出願資格事前審査の申請を行ってください。

なお、封筒の表に「高等司法研究科出願資格事前審査申請」と朱書きしてください。申請先については、末尾の「問い合わせ先」を参照してください。

【事前審査提出書類】

- ・ 出願資格(9)の者
出願資格事前審査申請書(所定用紙)、在籍した最終大学の退学証明書、成績証明書及び在籍大学院研究科の成績証明書、在学証明書(又は修了(見込)証明書)
 - ・ 出願資格(11)の者
出願資格事前審査申請書(所定用紙)、最終出身学校の卒業証明書、成績証明書、組織・課程・カリキュラム、授業の内容等を示す書類(シラバス、学生便覧など(外国語の場合は日本語訳を添付してください。))
 - ・ 出願資格(12)の者
出願資格事前審査申請書(所定用紙)、最終出身学校の卒業証明書、成績証明書、組織・課程・カリキュラム、授業の内容等を示す書類(シラバス、学生便覧など(外国語の場合は日本語訳を添付してください。))、大学を卒業した者と同等以上の学力があることを示す履歴書
- 注) 審査結果は、返信用封筒にて通知します。電話による問い合わせは受け付けません。なお、提出された書類等は返却できません。

1-3. 障がい等による配慮を希望する方について

平成 30 年度大阪大学大学院高等司法研究科への出願を検討している方の中で、障がい等があることを理由として、受験上及び修学上の特別の配慮を希望する方については、相談を受け付けておりますので、事前にご連絡ください。(連絡先は末尾の「問い合わせ先」を参照してください。)

1-4. 出願期間および提出書類

【出願期間】平成 30 年 1 月 22 日(月)から 1 月 26 日(金)まで【必着】

- ・ 出願書類の受付は、郵送(書留)によるもののみとし、直接持参しても受理しません。
- ・ 出願期間後に到着したものは受理しません。郵便事情を十分考慮の上、出願期間内に届くよう早めに郵送してください。ただし、1 月 25 日(木)以前の発信局(日本国内)消印のある書留郵便に限り、期限後に到着した場合でも、受理します。
- ・ 出願書類の提出封筒は、角形 2 号(縦 33.2×横 24cm)の大きさのものを使用し、封筒表面には必ず本冊子内の「出願書類提出用宛先」を切り取って貼付してください。
- ・ 出願資格(10)により出願した場合は、出願期間終了後、出願資格審査を実施します。審査の結果、本研究科が定める基準に達しないと判断した場合は、平成 30 年 2 月 1 日(木)以降、すみやかに出願取下げの手続きを通知します。

【提出書類】

①	入学願書	<p>【本研究科所定用紙】 志望するコース（法学未修者又は法学既修者）を必ず選択してください。</p>
②	卒業（見込）証明書	<p>出身大学又は在籍大学のもの。 *1-1. 出願資格(2)により出願する方は、学位授与（見込）証明書を提出してください。 *1-1. 出願資格(9)～(12)により出願する方は提出不要です。</p>
③	成績証明書	<p>出身大学又は在籍大学のもの。 (編入学・転部等を行っている方は、入学時からの成績証明書が必要です。) *1-1. 出願資格(9)、(11)、(12)により出願する方は提出不要です。 *卒業見込者は、提出前3か月以内の日付のものに限ります。 *1-1. 出願資格(7)に該当する方は当該学校の成績証明書</p>
④	法科大学院全国統一適性試験の成績証明書	<p>平成29(2017)年6月に実施した適性試験成績証明書のいずれか1枚。 (第1部から第3部の試験成績が記載されている成績証明カード) 第4部「表現力を測る問題」の提出は不要です。</p>
⑤	志望理由書	<p>2部提出(うち1部は写しでも差し支えありません。)(A4横書き・2,000字程度、ワープロ作成可、必ず氏名を記入してください。) (複数ページや添付物のある場合は、左上1箇所をホッチキスで留めてください。) 以下の3つの事項を必ず記述してください。 ①法科大学院への入学を志望する理由(法曹になりたいと思う理由) ②法科大学院修了後のキャリアについての見通し・計画・希望 ③入学者選抜に際し考慮してほしいと考える一切の事情 *関連する資格や能力を証明するものがあれば、その証明書等のリストを志望理由書の末尾に記載し、証明書等(又はその写し)各2部を提出してください。この他、任意で推薦書を提出することもできます。推薦書の様式は自由です。推薦者が作成し、署名したものを提出してください。なお、外国語で書かれた推薦書は、日本語訳を添付した上で提出してください。 (参考までにホームページ【http://www.lawschool.osaka-u.ac.jp/】に志望理由書及び推薦書サンプルを掲載していますので、利用することも可能です。)</p>
⑥	写真票・受験票	<p>所定の用紙に氏名等を記入し、上半身脱帽正面向、無背景で3か月以内に単身撮影した写真(縦3×横2.5cm)を貼付してください。</p>
⑦	検定料 30,000円	<p>所定の振込依頼書を使用して、銀行窓口で1月5日から1月26日までの期間に振り込んでください。 ・期限後の取り扱いはできません。 ・検定料の振込手数料は振込者負担です。 ・上記以外の方法(現金・郵便普通為替証書)では、納入(願書を受理)できません。 ・検定料をやむなく所定の振込依頼書を使用せずに振り込む場合は、次の銀行口座に振り込んでください。(ATM(現金自動預払機)での振込はお控えください。) なお、この場合は、検定料納入証明書の代わりに振込を証明する受取書等の写しを願書に添付してください。 振込先銀行口座 三菱東京UFJ銀行茨木支店 普通預金口座 1291811 受取人名義 材料が 付ク コウトウシホケンキョウカ 大阪大学 高等司法研究科 ・法学既修者コースと法学未修者コースを併願する場合、検定料を二重に振り込む必要はありません。</p>
⑧	返信用住所ラベル4通分	<p>所定の用紙の4通(①受験票送付用、②可否通知用、③入学手続通知用、④入学手続完了通知用)全てに郵便番号、住所及び氏名を明記し、①は120円分(普通郵便)、②は420円分(速達郵便)の切手を貼付してください。(③④には切手貼付は不要です。)</p>
⑨	在留資格等を証明する書類	<p>外国人の志願者は、下記の①～③のいずれかを提出してください。ただし、法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。 ①市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し※」 ※出願者以外の世帯員については、提出不要です。 ②市区町村長が発行した外国人登録証明書(カード)の写し(両面) ③地方入国管理局が発行した在留カードの写し(両面)</p>

⑩	日本語能力を証明する書類	留学生の志願者は、下記のいずれかを提出してください。 ①日本語能力試験N1または1級の認定書の写し ②日本留学試験（日本語）の成績証明書の写し
⑪	飛び入学資格等申請書（法学既修者コース）	【本学所定用紙】 1-1. 出願資格(10)により出願する者のうち、法学既修者コースを希望するもののみ

- ・1-1. 出願資格 (3)～(6)により出願する方は、当該外国の学校の組織・課程・カリキュラム、授業の内容を示す書類を同封してください。
- ・外国の大学及び機関の証明書等は、日本語訳及び説明書を添付してください。
- ・出願資格事前審査を申請され、資格を認められた方の場合、②の提出は必要ありません。
- ・本学法学部卒業見込者の場合、②の提出は必要ありません。
- ・提出する証明書等に記された氏名が出願時の氏名と異なる場合は、それを証明する資料を添付してください。

1-5. 法学既修者コースについて（および法学未修者コースとの併願について）

本研究科の修業年限は原則3年ですが、一般選抜において、第1学年配当科目を履修したものと同等の法的知識と能力を持つと認められる者（法学既修者）については、2年の短縮履修が認められます。

短縮履修を希望する一般選抜受験者は、入学願書・写真票等の「志望するコース」欄で、「法学既修者コース」を選択してください。

法学既修者コースの入学者選抜は、法律科目試験（公法（憲法、行政法）、民法1（民法）、民法2（商法、民事訴訟法）、刑事法（刑法、刑事訴訟法））を実施し、書類審査および法律科目試験の成績により総合的に合否を判定します。

なお、法学既修者コースを志望する場合でも、法学未修者コース（修業年限3年）を併願することもできます。法学未修者コースの入学者選抜は、書類審査および小論文試験の成績により総合的に合否を判定するため、両コースを併願する場合は、法律基本科目に加え小論文試験を受験した上で面接を受ける必要があります。選考の結果、いずれか一方のコースで不合格の場合でも、他方のコースで合格することがあります。

1-6. 入学者選抜試験実施要領

入学者の選抜は、選抜試験と提出書類に基づき行います。配点は以下のとおりです。

なお、法学既修者コースの入学者選抜にあたっては、書類審査、法律科目試験の成績により総合的に合否を判定しますが、法律科目試験の一部の試験科目の成績が著しく劣っている場合には、総合得点にかかわらず、不合格とすることがあります。

■法学未修者コース

適性試験	20点
大学の成績	15点
志望理由書	15点
小論文	50点
計	100点

■法学既修者コース

適性試験	20点		
大学の成績	15点		
志望理由書	15点		
法律科目試験	公法	憲法	50点
		行政法	50点
	民法1	民法	100点
		民法2	商法
	民事訴訟法		50点
	刑事法	刑法	50点
刑事訴訟法		50点	
計	450点		

法学既修者コース（法律科目試験）	
実施場所	大阪大学豊中キャンパス
実施日時・内容	平成30年2月11日（日） 10時00分～11時30分 公法（行政法・憲法） 12時40分～14時10分 刑事法（刑事訴訟法・刑法） 14時50分～16時20分 民事法2（民事訴訟法・商法） 17時00分～18時30分 民事法1（民法） <u>出題範囲</u> 憲法 …… 特に指定はありません。 行政法 …… 行政法総論・行政救済法 民法 …… 特に指定はありません。 商法 …… 会社法 民事訴訟法…第1審の判決手続（複数請求訴訟、多数当事者訴訟を除く） 刑法 …… 特に指定はありません。 刑事訴訟法…第1審の手続まで
備考	法学既修者コース志願者に実施します。

法学未修者コース（小論文）	
実施場所	大阪大学豊中キャンパス
実施日時・内容	平成30年2月12日（月） 小論文 9時30分～10時30分 面接 小論文終了後、一人あたり20分程度 ※小論文は、1行～数行のトピックに対する論述問題とします。 ※面接は出願書類のうち志望理由書に即して行い、その結果は書類選考の評価の中で考慮します。 ※第2次募集のため、第1次募集とは試験内容が異なります。
備考	法学未修者コース志願者に実施します。

1-7. 合格者発表

発表日時	平成30年3月9日（金）午前10時
発表方法	大阪大学大学院高等司法研究科（豊中総合学館）に掲示するとともに、合否通知書を発送します。 参考のため、ホームページ【 http://www.lawschool.osaka-u.ac.jp/ 】でも合格者の受験番号を掲示します。
備考	電話による照会には応じません。

・不合格者には個別成績（総合得点）を通知します。

2. 入学手続等

入学手続については合格通知の際にお知らせしますが、入学手続時期は平成30年3月9日（金）～3月14日（水）を予定しています。

入学手続書類発送の際、入学料・授業料の納入方法等をお知らせします。

納入金 入学料 282,000円（予定）

授業料 前期分 402,000円 年額 804,000円（予定）

*入学手続後に入学を辞退されても、入学料は返還できません。

*在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

*入学料、授業料の金額は、変更する場合があります。

入学料の他に、下記の費用が必要となります。詳しくは入学手続書類発送の際お知らせします。

学生教育研究災害傷害保険＋法科大学院学生教育研究賠償責任保険

法学未修者コース（保険料3年分） 7,520円（現行額）

法学既修者コース（保険料2年分） 5,030円（現行額）

※授業に伴う損害を填補するため、上記の保険に加入することを履修の条件としています。合格通知の際に送付する案内に従って保険料を納入してください。

3. 入試情報（個人成績等）の開示

平成 30 年度入学者選抜試験における受験者の個人成績等については、開示を希望する受験者本人（代理人は不可）に対し、次のとおり行います。

なお、本研究科入学者には、別途開示されます（平成 30 年 5 月以降）。

●開示内容

（法学既修者コース）書類選考の評価、科目毎の得点、総合点及び順位

（法学未修者コース）書類選考の評価、小論文の得点、総合点及び順位

●申し込み方法

希望者は申込受付期間内に、下記書類等を大阪大学大学院高等司法研究科教務係窓口へ提出してください。郵送をご希望の場合は、①の提出書類に加え、②の返送用封筒を入れて、**書留郵便**でお申込みください。

申し込み受付期間：平成 30 年 4 月 2 日（月）～4 月 20 日（金）必着

①	入学者選抜試験 個人成績開示依頼書*	必要事項をすべて記入してください。
	受験票	平成 30 年度受験票をお送りください。
②	返送用封筒	※受け取りを窓口でされる方は不要です。 （受け取りの際に本人確認ができる身分証等を提示いただきます。） 定形（長形 3 号：縦 23.5cm×横 12cm） の封筒に受験者本人の郵便番号、住所、氏名を明記し、 郵便切手 522 円 （書留郵便定形 50g まで）を貼付した封筒

*「入学者選抜試験個人成績開示依頼書」は、高等司法研究科ホームページ
【<http://www.lawschool.osaka-u.ac.jp/>】よりダウンロードしてください。

申し込み受付期間内に依頼のあった個人成績については、平成 30 年 5 月中旬以降窓口にて交付もしくは返送用封筒にて順次郵送します。

4. 注意事項

(1) 出願書類等の送付、不明な点の問い合わせ等は、末尾の「問い合わせ先」宛に送付・連絡してください。

なお、質問の多い事項や重要と思われる事項については、研究科ホームページ→入試情報の Q & A に掲載しています。

(2) 出願受付後は、出願書類の記載事項の変更はできません。

(3) 振り込まれた検定料は次の場合を除き返還しません。

①出願したが受験資格がなかった場合

②出願期間終了後に出願書類が本研究科に到着し、受理されなかった場合

③出願書類に不備があり受理されなかった場合

④検定料を振り込んだが出願しなかった場合

⑤検定料を誤って二重に振り込んだ場合

④、⑤の場合は、返還請求を行ってください。返還請求の方法は、返還請求の理由・氏名（フリガナとも）、現住所、連絡先電話番号を明記した検定料返還請求書（様式自由）を作成し、必ず「大阪大学大学院高等司法研究科検定料納入証明書」を添付して、返信用封筒（切手 82 円を貼付）と共に下記宛に郵送してください。

〒560-0043

豊中市待兼山町 1 番 6 号 大阪大学大学院高等司法研究科教務係

(4) 出願書類は合否にかかわらず返却できません。また、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません。

注：志望理由書に添付する証明書等については複写したものでもかまいません。

(5) 受験のための宿泊施設等のあっせんは行いません。

(6) 入学願書の履歴、入学資格等について虚偽の記載または証明書等の偽造、改ざんをした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

(7) 個人情報の取り扱いについて

・出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。

なお、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。

・入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

・上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。

この場合、外部の事業者と個人情報の取り扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または、一部を提供します。

(8) 健康な学生生活を過ごせるよう、入学者全員について健康診断を実施します。健康診断の結果、結核予防法等に従い病状により出席停止等の措置を行うことがあります。

(9) 試験会場内には自動車・バイクの駐車場がありませんので、公共交通機関を利用願います。

平成 29 年 12 月

平成30年度
大阪大学大学院高等司法研究科入学願書

受験番号	
------	--

一般選抜(第2次募集)

氏名 (フリガナ) (*1 旧姓) 生年月日：西暦 年 月 日	出身 国立・公立・私立・その他() _____ 大学 学部 _____ 学科 _____ 系統 _____ *3 西暦 年 月 日 卒業・卒業見込 (職歴 有・無)	性別	男・女
		本籍(都道府県名)	*2
現住所	〒 _____ _____ 電話番号 _____ _____ 携帯電話 _____		
出願資格	(1)・その他() (どちらかに○をつけてください。(1)以外の方は番号を記載ください。)	電子メールアドレス	
志望コース	1. 法学未修者コース 2. 法学既修者コース ※志望するコース(1. または2.)に○をつけてください。 ※併願する場合は、両方のコースに○をつけてください。		
他選抜試験への出願の有無	特別選抜(法学部3年次生)【B日程】 有・無	留学生記入欄	在留資格：留学・その他() 経費区分：国費・私費
		本学在学生記入欄	学籍番号：

- *1 添付する証明書等に記載の氏名が出願時の氏名と異なる場合は、*欄に旧姓を記入してください。
- *2 外国籍の場合は、国名を記入してください。
- *3 系統については、①法学系、②(法学系を除く)社会科学系、③人文科学系、④教育系、⑤理学系、⑥工学系、⑦農学系、⑧医薬看護系、⑨その他 のいずれかの番号を記載してください。

法科大学院全国統一適性試験成績貼付欄

<p>2017年6月に実施した「2017年法科大学院全国統一適性試験成績証明カード」 を<u>開封せずに裏面を糊付けして貼付してください。</u></p>

検定料納入証明書貼付欄

<p>* 検定料納入証明書の貼付がない・銀行の領収印が押されていない場合は、願書を受理できません。 また、所定の振込依頼書を使用せずに検定料を振り込んだ場合は、検定料納入証明書の代わりに振込を証明する受領書等の写しを添付してください。</p>

※裏面も必ず記載してください

整理番号	
------	--

平成30年度 **受験者写真票**(一般選抜第2次募集)

(ふりがな)	
氏名	
生年月日・性別	西暦 年 月 日生(男・女)
志望コース	1. 法学未修者コース
	2. 法学既修者コース
	※志望するコース(1. または2.)に○をつけてください。 ※併願する場合は、両方のコースに○をつけてください。

受験番号



(受験票と同じ写真を糊付けしてください)

整理番号

大阪大学大学院高等司法研究科法務専攻

切り離さずにお送りください

平成30年度 **受験票**(一般選抜第2次募集)

(ふりがな)	
氏名	
生年月日・性別	西暦 年 月 日生(男・女)
志望コース	1. 法学未修者コース
	2. 法学既修者コース
	※志望するコース(1. または2.)に○をつけてください。 ※併願する場合は、両方のコースに○をつけてください。

受験番号



1. 上半身脱帽正面向き、無背景で3か月以内に単身撮影したものとします。
2. 写真の裏面に氏名を記入してください。
3. 大きさはこの枠内に合わせてください。(縦3cm×横2.5cm)
4. 写真は全面に糊付けしてください。

(注)受験中は本票を必ず携帯してください。

整理番号

大阪大学大学院高等司法研究科法務専攻

（一般選抜）返信用住所ラベル
合否通知等の送付に使用しますので、必要事項を記入して剥がさずに提出してください。記入の際、「様」は消さないでください。

120円分
切手貼付

〒
住 所

氏 名

様

420円分
切手貼付

〒
住 所

氏 名

様

速達

* 下記のラベルには切手を貼らないでください。

〒
住 所
氏 名

様

〒
住 所
氏 名

様

(出願書類提出用宛先)

560-0043

豊中市待兼山町1番6号

大阪大学大学院高等司法研究科 御中

書
留

大阪大学大学院高等司法研究科
入学願書在中

選抜区分	一般選抜(第2次募集)	
志望コース	1. 法学未修者コース	※志望するコース(1. または2.)に○をつけてください。 ※併願する場合は、両方のコースに○をつけてください。
	2. 法学既修者コース	
ふりがな		
出願者氏名		
住 所	〒	

提出書類封入確認欄

入学願書 (検定料納入証明書、適性試験成績証明書貼付必須)	返信用住所ラベル(内、2通に返信用切手貼付)
卒業(見込)証明書	在留資格等を証明する書類(外国人の方のみ)
成績証明書	日本語能力を証明する書類(留学生の方のみ)
志望理由書(2通)	飛び入学資格等申請書(法学既修者コース) ※該当者のみ
写真票・受験票	

※出願書類の封筒表面に、本宛先用紙を必ず貼付してください。

整理番号	※大学記入欄(出願者は記入不要)
------	------------------

平成 年 月 日

出願資格事前審査申請書

大阪大学大学院高等司法研究科長 殿

ふりがな
申請者氏名 _____
生年月日 _____年 月 日生
〒
住 所 _____
電話番号 () - _____

今般、平成 30 年度大阪大学大学院高等司法研究科法務専攻に出願するにあたり、出願資格事前審査を受けたく所定の書類を添えて申請いたします。

記

○適用を受けようとする出願資格 (番号に○を付してください)

一般選抜への出願資格 (9)・(11)・(12)

平成 年 月 日

大阪大学大学院高等司法研究科（法科大学院）
飛び入学資格等申請書（法学既修者コース）

申請者氏名 _____
所 属 _____ 大学
_____ 学部
_____ 学科

所属大学において、3年次の前期（9月30日までに終了する学期をいう）までに単位を修得した科目のうち、法律基本科目（下記の科目区分）に相当するものを記載してください。
（注意）入門系科目、一般教養系科目については含めることができません。

法律基本科目 の科目区分	所属大学における単位修得科目のうち左記の区分に相当するもの (成績証明書に記載されている情報を転記してください。)		
	科目区分	科目名	単位数
憲法			
行政法			
民法			
商法			
民事訴訟法			
刑法			
刑事訴訟法			
		計	単位

※欄が不足する場合は適宜追加してください。

※この申請書は、下記に該当する方のみ提出が必要です。

- ①一般選抜の出願資格（10）により出願する者のうち、法学既修者コースを希望するもの
- ②特別選抜（法学部3年次生）に出願する者

検定料振込依頼書

以下の振込依頼書の外側の枠線に沿って切り取り、金融機関窓口で手続きを行ってください。

(ダウンロード版を使用する場合の注意点)

- ・必ず A4 サイズの紙に印刷してください。(モノクロ印刷でかまいません。)
- ・PDF を印刷する際、「ページの拡大／縮小」が設定されていると、検定料振込依頼書の実際のサイズ(横幅が約 28.5cm)と異なるサイズで出力されますので、印刷ダイアログで拡大／縮小をしないように設定を確認してください。(設定方法はプリンタドライバにより異なります。)

平成30年度
大阪大学大学院高等司法研究科

検定料納入証明書

金額	¥ 30,000
フリガナ*	
出願者氏名*	

1. 入学願書の所定欄に貼付してください。
2. 納入期限以降の納入は無効です。
3. ※印欄は必ず記入してください。

国立大学法人
大阪大学大学院
高等司法研究科

領収済印
又は振替印

1

(ご依頼人→大学)

平成30年度
大阪大学大学院高等司法研究科検定料

振込金(兼手数料)受領書

平成 年 月 日	手数料				
金額	¥ 30,000	千	0	0	0
先方銀行	三菱東京UFJ銀行・茨木支店				
受取人	普通預金	1291811			
	大阪大学 高等司法研究科				
ご依頼人 (出願者氏名)	(フリガナ)				

上記金額、正に領収しました。

【取扱店】

_____ 銀行
_____ 支店

2

収入印紙

(取扱店→ご依頼人)大切に保存してください

電信扱

平成30年度
大阪大学大学院高等司法研究科検定料

振込依頼書

科目	検定料収入				
ご依頼日	平成 年 月 日				
先方銀行	三菱東京UFJ銀行・茨木支店				
受取人	普通預金	1291811			
	オオサカダイガク コウトウシホウケンキュウカ 大阪大学 高等司法研究科				
ご依頼人 (出願者)	フリガナ*				
	氏名*				
	住所*	電話	()	
	領収済印 又は振替印	3			
	送信番号				

※印欄は必ず記入してください

一般選抜の検定料 納入期限：平成30年1月26日

(注意) 期限後の取扱はできません(厳守のこと)

(取扱店保存)

手数料振込人負担

約 28.5cm